

平成28年第1回定例会（6月議会）

## 農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

**当日配布分**

平成28年6月8日

農 林 水 産 部

# 目 次

- 1 4月17～18日の暴風による被害と対応状況について〔水田総合利用課〕 ----- 1
- 2 鹿角地域における降ひょうによる被害状況と対応について〔園芸振興課〕 ----- 2
- 3 全農畜産サービス(株)秋田SPF豚センターの火災について〔畜産振興課〕 ----- 3

# 1 4月17～18日の暴風による被害と対応状況について

水田総合利用課

## 1 被害状況

平成28年4月17～18日の暴風による被害について、次のとおり確定した。

- (1) 被害額 460,862千円（4月県政協議会報告時点 350,801千円）
- ・農作物等 4,740千円（メロン、ネギ、比内地鶏等）
  - ・栽培施設等 456,122千円

## (2) 栽培施設等の被害状況 (棟)

区分	被害程度	棟数	地区別棟数	
パイプハウス	全壊	334	鹿角 180	北秋田 249
	半壊	212	山本 98	秋田 394
	ビニール破損等	1,908	由利 142	仙北 823
	小計	2,454	平鹿 342	雄勝 281
その他（格納庫、畜舎等）		55		
計		2,509		

## 2 復旧に向けた対応

施設復旧については、小型簡易ハウス等を含めて、夢プラン応援事業により支援することにしており、現在、各地域振興局において事業申請を受け付けている。

<参考> 復旧支援措置の事業要望状況（5月31日現在）

10市町、ハウス等（園芸用ハウス、簡易ハウス、牛舎等）106棟

事業費 25,636千円（県助成額 7,720千円、市町助成額 4,095千円）

### 事務処理スケジュール

- 復旧支援措置の通知 4月28日
- 計画承認申請 一次：5月31日 二次：6月30日
- 計画承認 一次：6月7日 二次：7月7日
- 補助金交付 事業完了確認後、速やかに交付

## 2 鹿角地域における降ひょうによる被害状況と対応について

園芸振興課

### 1 降ひょうの概況

5月30日午後3時頃から10分間程度にわたり、小坂町から鹿角市北部にかけて、直径1～2cm大の降ひょうがあった。

被害は、ひょうの通り道になった一部地域に集中しており、特に、十和田大湯地区関上集落で大きくなっている。

### 2 園芸作物の被害状況（6月6日現在）

《果樹》

- ・ 想定される被害面積は、りんご46ha、もも10haであり、特に、十和田大湯地区の関上集落で、傷果、落果等が多く発生している。

《花き》

- ・ シンテッポウユリは、主産地の十和田毛馬内・大湯地区 約4haで茎折れ等の大きな被害が発生した。

《野菜・葉たばこ》

- ・ 野菜は、ねぎ、アスパラガス等で茎葉の損傷等があったほか、葉たばこでも、十和田大湯地区等3.8haで、茎折れや中葉の損傷等の被害があった。

#### 【主な品目の被害状況】

(単位：ha・戸・千円)

品目名	鹿角市・小坂町		うち被害のあった地区 (十和田大湯・毛馬内地区他・小坂町)			
	栽培面積	生産者数	被害面積	生産者数	被害額	
果樹	りんご	215	322	46	126	—
	もも	60	181	10	56	—
	ぶどう	14	26	3.2	4	—
花き	シンテッポウユリ	7	30	4.1	15	26,040
	小菊	3	16	0.2	5	2,970
野菜	ねぎ	5	29	0.4	3	500
	アスパラガス 他	25	238	1.8	21	1,050
葉たばこ	55	88	3.8	6	1,700	

※1 果樹の被害面積等は、降ひょうによる被害が想定される面積・生産者数。

※2 果樹の被害額は、摘果作業が終了し、被害程度が判断できる7月に算定の予定。

### 3 被害作物への対応

鹿角地域振興局を中心に、JA、市町と連携し農家を巡回しながら、次の技術対策について、周知徹底を図っている。

- ・ 野菜や花き等については、回復の見込めない被害苗等のほ場からの速やかな撤去。
- ・ 病害予防のための薬剤散布の励行。
- ・ 特に果樹は、翌年の生産に影響が及ばないように、被害程度に応じた適切な摘果作業等の実施。

今後、被害を受けた農家が意欲を持って営農を継続できるよう、関係市町、JA等と支援策について協議していく。

### 3 全農畜産サービス(株)秋田SPF豚センターの火災について

畜産振興課

平成28年6月4日17時頃、大仙市協和の全農畜産サービス(株)秋田SPF豚センターで火災があり、8棟の豚舎のうち種豚舎等4棟が全焼し、種豚409頭を含む豚3,730頭が焼死した。

#### 1 農場の概要について

- ・ 農場名 全農畜産サービス(株)秋田SPF豚センター
- ・ 所在地 大仙市協和下淀川
- ・ 飼養規模 母豚 990頭、育成豚等 7,600頭 計 8,590頭
- ・ 施設の概要 豚舎8棟(種豚舎2、分娩舎1、離乳舎1、育成舎2、肥育豚舎2)
- ・ 種豚出荷数 平成27年度 6,475頭(うち、県内向け 774頭)

当該農場は、SPF(特定の病原菌を保有していない)豚の飼育農場であり、全国の養豚場へSPF種豚を出荷している。

#### 2 被害の状況について

- ・ 建物 豚舎4棟(種豚舎1、育成舎2、離乳舎1) 全焼
- ・ 焼死豚 3,730頭(種豚 409頭、育成豚等 3,321頭)

#### 3 これまでの対応状況について

- ・ 6月5日、南部家畜保健衛生所の職員が現場に入り、被災状況や保険加入状況等を確認するとともに、今後の対応等について助言した。
- ・ 6月6日、県畜産振興課、仙北地域振興局福祉環境部、南部家畜保健衛生所、大仙市役所の職員が農場に集合し、焼死豚の処理方法等について検討を行った。
- ・ 農場敷地内のへい獣処理場(埋却可能頭数1,500頭)を拡張のうえ、全頭埋却することとし、6月7日午後から埋却作業を開始している。

#### 4 農場の再開について

- ・ 当該農場の再開及び今後の種豚生産については、農場と本社との間で現在協議中である。

